



➤ ISO 9001 及び ISO 14001 の統合について Whitepaper

どのようなメリットがあるのか？

Approaching change

➤ ISO 9001: 概要

世界で最も認知されている品質マネジメントシステムの規格である ISO 9001 は、コスト削減、利益向上、新規ビジネス獲得、そして顧客の期待に応えるために、あらゆる規模のビジネスを支援します。

ISO 9001 は、組織のモニタリングや業務全体にわたって品質管理を継続的に支援するために設計されており、国際的に認知された同規格は、安定したパフォーマンスとサービスを実現するためのベンチマークを設定します。組織は、ISO 9001 を導入することで以下が可能になります。

- 市場においてより一貫性のある競争力
- より多くの顧客ニーズへの対応
- 時間、費用、そして資源を節約するためのより効率的な方法の実践
- 内部プロセスの効率化によるスタッフの動機付けと仕事への関与
- より良い顧客サービス提供による、よりハイレベルな顧客の獲得
- 規制遵守によるビジネスチャンスの拡大

➤ ISO 14001: 概要

ISO 14001 は、ビジネスを成長させる一方、組織が環境に与える負荷を低減させる手助けとなり、最終的に持続可能な成功の達成に結びつきます。

国際的に認知された規格として、ISO 14001 は、優れた環境マネジメントシステムを取り入れる最も効果的な方法を提示します。この規格は、環境に対する責任を見逃すことなく、組織の成功を支援するために開発されました。

そのハイレベルストラクチャーのフレームワークは、通常の要望に加え、企業が顧客や他の利害関係者から出される厳しい期待に応え、要件を満

たすことができます。組織は ISO 14001 を取り入れることで以下が可能になります。

- 廃棄物やエネルギー使用量の削減
- ビジネスを運用する全体コストの削減
- ビジネスチャンス拡大のための法令順守の実証
- 変化するビジネス環境に対応するための十分な準備

➤ 全てのマネジメントシステム規格が連携する将来

Annex SL の紹介 – 今後発行される規格と改定版マネジメントシステム規格において、一貫性を持たせるため設計された新しいハイレベルストラクチャー。

国際規格の発行に責任を持つ組織である ISO は、刻々と変化する世界に適合するように 5 年ごとに既存の規格をレビューしています。委員会は、現在の ISO 9001 と ISO14001 をレビューした後、ビジネスの世界の変化に対応させるべく、これら両方の規格を改定することを決定しました。

規格の改定版は、変化する世界に十分に適応可能で、顧客満足度を向上させ、全ての利害関係者の要求を満たすべきであり、将来のために一貫性のある基盤を提供します。

この統合を支援するために、ISO は新しいハイレベルのフレームワーク「Annex SL」を導入し、すべての新規及び将来の規格の構造に一貫性を持たせています。

過去には、管理システムは、特定の共通性を共有するにもかかわらず、大幅に異なる構造になっており、これがこの統合プロセスを複雑にしてきました。

Annex SL を導入することで、今や、全てのマネジメントシステム規格は同一の構造、テキスト、用語、及び定義を持つこととなります。

箇条 1	適用範囲
箇条 2	引用規格
箇条 3	用語及び定義
箇条 4	組織の状況
箇条 5	リーダーシップ
箇条 6	計画
箇条 7	支援
箇条 8	運用
箇条 9	パフォーマンス評価
箇条 10	改善

この共通の構造は、時間と費用を節約し、複数のマネジメントシステムのスムーズな統合を行います。

▶ ISO 9001 及び ISO 14001 の統合

前項で説明したように、効果的な品質 / 環境マネジメントシステムを導入するメリットは無限大です。多くの組織では、これらの2つのマネジメントシステムは、改定版における新しいハイレベルストラクチャーによって同期され、統合はこれまで以上に理にかなったものになります。

テキスト、用語、及び定義を共通化することで、余計な時間や費用を浪費することなく Annex SL はすべての新規及び改定版マネジメントシステム規格のスムーズな統合を可能にします。この国際的なフレームワークが存在する前は、組織は複数のマネジメントシステムを管理する方法を見つけなければならず、それは同時に、資源の無駄、ビジネスニーズとの矛盾、貧弱な内外のコミュニケーションの軋轢を誘発しました。

統合されたマネジメントシステム (IMS) とは？

ここでいう統合とは、「組み合わせ」を意味し、品質や環境などのマネジメントシステムを一体化させることで、意図された目的を達成するための1つのコアビジネスシステムを形成します。

これは、ビジネスの結果に影響を与えるものは、マネジメントシステムの一部でなければならず、全プロセスや文書が完全に統合されることを意味しています。

この統合は、単に特定の要素が他の要素に隣接するような、または方針や手順が同一の冊子 (文書) に記載されるような、あるいは同一のソフトウェアによって管理されるような状況を越えて拡張されます。

IMS の全ての要素は固有のものであり、単一のシステムを形成します。一部の組織では、「システム」を省略し、「統合管理」に焦点を当てています。この概念は、管理者が様々な機能を監督するように、組織全体の機能的な管理の分散を内包するものになっています。例えば、製造マネージャーは、企画、製造、安全性、人事、品質、そして財務を担当する可能性があります。

組織はなぜ統合を考えなければならないのか？

ビジネス環境は、かつてないほどに競争が激しくなっており、組織は優良企業としての社会的責任を実証するために、社内外の顧客からの高い期待に直面しています。

これは堅牢な品質、環境、安全衛生マネジメントシステムを導入し、実施し、維持することを意味しています。これらを単一システムとしてみなすと、時間と資源を無駄にする結果になりかねません。しかし Annex SL のハイレベルストラクチャーを適切に取り入れることで、より多くの組織が、統合された個々のマネジメントシステムから事業計画、人事、財務、調達、管理、運用、監査、そしてマネジメントレビューや他システムと連動する一つのマネジメントシステムから恩恵を受けることができるようになります。

どのように ISO 9001 と ISO 14001 を統合するのか？

統合を検討する際、企業には2つのオプションがあります。1つ目は「変換」です。すでに組織に認証された品質マネジメントシステムが導入されている場合、必要なプロセスを追加することで、環境マネジメントシ

ステム規格の要求事項に適合するよう既存のシステムを拡張することができます。これは、両システムが文書化された情報、トレーニング、内部監査、マネジメントレビュー及び是正処置のために共通のプロセスを共有することを意味します。言い換えれば、統合は既存のプロセスに新しい実践方法を追加し、すべての管理システムの要求事項を包括する文書に改定することで可能なのです。

2番目のオプションは、「システムの統合」です。これは、品質・環境マネジメントシステムのような2つのシステムを統合することを指し、一旦システムの一体化が始まると他のシステムの統合も実行されます。この方法では、同じプロセスをサポートする全ての文書の統合を可能にします。

ISO 9001 と ISO 14001 を統合するメリットとは？

統合には次のようないくつかの利点があります：

ビジネスパフォーマンスの改良

Annex SL は複数のマネジメントシステムの統合を容易にし、それによってより大きなビジネス上のメリットを得ることができます。それは、品質と環境パフォーマンスの両方における全てのビジネス・プロセスを統合し、組織の事業戦略と連携させ継続的に全てのマネジメントシステムを改善することを容易にします。

総合的なアプローチ

複数のマネジメントシステム規格を統合することで効率を高め、異なる作業領域で発生する問題へのソリューションを開発し、組織全体を見渡せる視点を提供するような、より総合的なアプローチをもたらします。この戦略的なフォーカスは、組織に真の価値をもたらす両マネジメントシステムのパフォーマンスを最適化します。

品質と環境マネジメントを組織の中核に組み込む

規格の改定版は、品質と環境マネジメントを完全に組織のビジネス戦略に組み込みます。経営管理ツールとして使用されることで、時間の経緯とともに正常なパフォーマンス改善プロセスが埋め込まれると同時に、品質と環境両方の要件の重要性が高まります。

文書と重複の軽減

全ての規格の要求事項を設定した方針と手順に適合させることで ISO 9001 と ISO 14001 の統合は、重複する責務や不要な重複を省き、その結果、業務プロセスにおける重複を軽減させ、管理、維持が容易になります。

時間と資源の節約

統合マネジメントシステムの導入によって、内部外部における監査手順は、より効果的に監査活動の重複を排除し、時間、費用及び、他の資源を節約することにつながります。

➤ 移行を成功させるための5つのキーステップ

今日から移行準備を始めてください。

- 1 まずは BSI にご相談ください**
 - 移行施策とタイムラインについて議論してください
 - BSI のウェブサイトからダウンロードできるツールやホワイトペーパーをご覧ください
- 2 BSI のトレーニングコースに参加してください**
 - BSI のトレーニングコースに参加し、新たな要求事項をより速く、より詳細に理解してください
- 3 組織内でコミュニケーションを取ってください**
 - 新たな要求事項について主管部署と討議してください
 - 多くの賛同を得るために、組織においてより広範囲に改定に関する情報の伝達をしてください
 - 進捗状況を定期的に発信してください
- 4 内部のプロジェクトチームを設立してください**
 - 現在のシステムに対する GAP 分析を実施してください
 - 導入計画を作成し進捗管理をしてください
 - 自社の QMS/EMS について洗い直してみましょう
 - リーダーシップ、リスクと組織の状況に関する新たな要求事項を履行してください
 - 新しい構造が文書に反映されるように変更してください
- 5 文書レビューサービス / 移行審査**
 - BSI では移行審査の前にお客様の改定状況を確認するための文書レビューサービスをご提供しています
 - 新たな規格の発行後、新規格への移行審査が適用可能になります

➤ 移行スケジュール



最新情報は下記 Website をご覧ください
<http://www.bsigroup.com/ja-JP/isorevisions/>



BSI グループジャパン株式会社
 T: +81 (0)3 6890 1172
www.bsigroup.com/ja-JP/

